

いわた羅針盤

ら しん ばん

No.59

2017.02.01発行



子育て支援センター「ふわっと」の利用者、職員の皆さん

特集

子育て支援を考える

子育て支援センター「ふわっと」

利用者 興梶江梨花 さん
職員 大橋ひとみ さん
支援ボランティア 寺田 節子 さん

CONTENTS

- P2 特集 子育て支援を考える
- P4 11月定例会議案審議
- P7 委員会審査
- P9 代表質問(5会派)
一般質問(2人)
- P16 委員会行政視察報告
- P17 インフォメーション
- P18 議会報告会
- P20 審議結果 ほか

特集

子育て支援を考える

今回の特集は、子育て支援センター「ふわっと」の利用者、職員、支援ボランティアの3人に「子育て支援の現状」などについてお話を伺いました。



子育て支援センター「ふわっと」
利用者 興梠江梨花さん 凜桜ちゃん

子育て支援センター「ふわっと」
職員 大橋ひとみさん

地区社協子育て支援ボランティア
寺田節子さん

寺田 私は以前、児童館で子育て支援を始めたことを聞き、何かお手伝いできればと子育て支援ボランティアに参加しました。最近「ふわっと」にも30人ほどが集まるようになり、お母さん方に喜んでもらっているのかなあと思っています。小さな子どもを見てみると嬉しいですし、とても楽しいです。利用する子どもが増えてきているので、少し部屋が窮屈になってきているかもしれないですね。

大橋 オープンしてまだ1年目なので、とてもきれいで清潔感があり、新しいおもちゃもあるなどとてもいいという声が聞かれます。乳幼児が対象なので、おもちゃも喜んで使ってくれています。

——子育て支援センター「ふわっと」を利用するようになったきっかけは何ですか。
興梠 ホームページを見て知りました。また、赤ちゃん訪問の時にいただいた冊子に紹介されていた「磐田市子育て情報サイト『わわわ』」で子育て支援センターについて調べたら、この「ふわっと」が一番近かったので利用してみようと思いました。「わわわ」は、大変見やすいサイトですね。
——この施設が開設されて1年が経ちましたが、施設の状況はいかがですか。

親同士が情報交換できる

子育て支援センターのような施設はとても大切

— 子育て環境を良くするためにどんなことが必要だと思いますか。

興格 今の環境でも十分だと感じていますし、とても助かっています。私は出身が磐田市ではないため、知り合いも全くなかったため、特に子どもが生後2ヶ月の頃は心細かったです。

も、この施設を利用し、先生方がすぐ温かく迎え入れてくれて、とても楽しく通うようになりました。このような施設があるのはとても大切なことだと改めて思っています。こうした施設はぜひ維持して欲しいです。

子どもがもう少し大きくなって、歩けるようになれば、この近くに広げて自由に遊べる公園が欲しいかなと思います。

大橋 いろいろ子育てに悩むこともあると思いますが、この施設に来てくれたお母さん同士が情報交換をしたり、家で話することができないことを話したりしています。お互いの子どもの成長について話しているのを見ると、こういう施設は大切だと感じています。これからも、子どもたちが幸せそうに遊び、お母さんたちもほっとできる場所でありたいと思っています。おばあちゃんが孫を連れて来て、子育ての経験などを話してくれることもよくあるんです。



寺田 小さな子どもが砂遊びなどできる場所やお母さんと子どもと一緒に遊べる場所が不足していると感じています。こうした施設がもう少し増えるとお母さんたちもうれしいと思います。

— 市議会に期待することは何ですか。

興格 将来にわたって安心して子どもを育てていけるようにして欲しいです。私は子どもが1歳になったら、保育園に預けて働き始めたいと考えています。ここ数ヶ月、入れるのか入れないのか、働きたいけど働けるのかなど、とても不安に思っています。確実に子どもを保育園に預けることができれば、もっと女性が働くことができるようになっていくと思います。

大橋 こうして支援センターなどに議員さんたちが来てくださると、子育て世代のことを考えてくれていらっしゃるんだなあとうれしく感じます。支援センターの役割としてまだまだやれることがあるので、その時になったら、力を貸していただきたいと思います。

寺田 これからも子育て支援センターを応援していただければと思います。また、できれば3歳くらいまではできるだけお母さんが子どもと一緒にいる環境をつくっていただきたいと思います。

— 本日お話しいただいたことを踏まえ、市議会としても「子育てのまち磐田」がさらに進むよう努力していきます。本日はありがとうございました。

子育て支援センター「ふわっと」

27年4月に磐田市で10番目の子育て支援センターとして、福田こども園内にオープン。子育て相談や各種イベントを行っています。

住所：磐田市福田中島55（福田こども園内）

電話：0538-58-1566

開館日：火曜日～土曜日

（午前9時～正午、午後1時～4時）

休館日：日曜・月曜・祝日・年末年始

（月曜日が祝日の場合は火曜日）



議案審議

会期 11月24日～12月19日(26日間)

11月定例会の様子は、インターネットで録画配信しています。

磐田市議会 配信

検索

↑
クリック

第2次磐田市総合計画などを審議

11月定例会では、市長提出の第2次磐田市総合計画基本構想及び基本計画や一般会計補正予算など一般議案31件、人事議案1件のほか、全議員提出の意見書1件を審議しました。

なお、全ての議案の審議結果は最終ページに掲載しています。

総合計画の構成

第2次磐田市総合計画の構成は、基本構想・基本計画・実施計画の3層構造とします。



今後の10年間(29年度から38年度まで)のまちづくりの指針であり、市の上位計画である「第2次磐田市総合計画」の基本構想及び基本計画(前期)について審議した結果、賛成多数により可決しました。

(賛成…志・新・き・公 反対…共)

議案
第110号

第2次磐田市総合計画を可決

賛成多数で
可決

まちの将来像

たくさんの元気と笑顔があふれるまち 磐田

～ 今までも、これからも ずっと磐田 ～

まちづくりの基本理念

～ 未来のまちづくりを担う「人づくり・地域づくり」を進めます ～

議会からの提言（抜粋）

- ・土地利用構想の中に、コンパクトシティの視点・考え方を記載すべき
- ・危機管理・防災対策の推進では、液状化に対する施策や取り組みを記載すべき
- ・いじめや不登校についての指標・目標値を加えるべき
- ・農業だけでなく水産業の新たな取り組みや支援等を施策に記載すべき
- ・総合計画の位置づけをよりはっきりさせるため、下位計画を含めた体系図を記載すべき

そのほか、全45項目について提言を行いました。



市議会の取り組み

磐田市議会では、「磐田市総合計画特別委員会」を設置し、策定の段階から委員間協議を行い、市長に提言書を提出するなど、積極的に関わってきました。

月 日	内 容
平成28年 2月25日	総合計画特別委員会を設置する
3月22日	基本構想（素案）の説明を受ける
6月 8日	基本計画（素案）の説明を受ける
8月9・10日	分科会（総務・民生教育・建設産業）を開催し、執行部からの総合計画（案）の説明、質疑及び委員間協議を行う
8月25日	特別委員会正副委員長及び分科会正副委員長により、各分科会の提言を取りまとめ、議長へ提出する
8月31日	議長から市長に対し第2次磐田市総合計画（案）に対する提言書を提出する
11月24日	11月定例会に議案として「第2次磐田市総合計画基本構想及び基本計画」を上程する
12月7・8日	分科会（総務・民生教育・建設産業）で議案を審査する
12月19日	本会議で採決の結果、賛成多数により原案のとおり可決する

この議案には討論がありました

反対 基本理念で「住民の福祉増進」等を規定すべき

反対の主な理由を述べる。

①学府一体校等新時代の新たな学校づくりの推進は中学校区に「学府一体校構想」を実現しようとするものであり、反対②幼保再編計画に基づく公立保育園の民営化推進には反対③学校給食施設のあり方の検討において、順次民間委託する方向性は問題④児童館条例が廃止されたままであり、新たな条例を策定する方向性を示すべき⑤定員適正化計画の策定・推進とあるが、技能労務職員の不補充・削減の方向性は問題⑥計画の中に市民の負担軽減策がない⑦基本理念で「住民の福祉増進を図ること」や「核兵器廃絶平和都市宣言を生かしたまちづくり」を示すべき。

以上により、反対する。

日本共産党磐田市議団

根津康広 議員

賛成 次世代へ魅力ある磐田市を確実に引き継ぐ計画

学府一体校の推進は、将来

の新たな学校づくりを進めるもので、基本理念の「人づくり・地域づくり」を進める上で重要な取り組みである。また、保育園の民営化は多様化するニーズに対応し、より柔軟な運営等が可能となる。さらに、保育士確保策や専門的相談機能の強化など、子育て支援の充実に努める姿勢が読み取れる。学校給食では、民間活力を生かすことにより、効果的・効率的に充実を図ることが出来る。そのほか新東名スマートインターチェンジやJR新駅設置、新文化会館の整備など、多くの分野において本市の発展と活力を高める事業が計画されており、次世代へ魅力ある磐田市を確実に引き継ぐ計画である。

志政会 絹村和弘 議員

防災行政無線（同報系）のデジタル化工事に係る請負契約の締結

全会一致で
可決

防災行政無線（同報系）をデジタル化するための工事に係る請負契約を、入札の結果、税込み12億1402万8千円で株式会社日立国際電気静岡営業所と締結します。

工事の概要

市内全域にある同報無線をデジタル化するための工事で、内容は、デジタル機器の入れ替え、子局（スピーカー）の新設、更新及び撤去です。

工事計画

- 【28年度】
 - ・親局工事（福田・竜洋・豊岡）
 - ・子局工事（豊田）
- 【29年度】
 - ・子局工事（磐田）
- 【30年度】
 - ・子局工事（磐田）

工事が完了した子局（スピーカー）から順次、デジタル波による放送を行います。それまでは、今までどおりアナログによる放送となります。



子局スピーカー

本会議での主な質疑

問 デジタル化整備の工事計画は。

答 主に親局及び子局の設備をデジタル機器へ入れ替え、デジタル化に伴い敷地地区へ中継局を新たに設置するほか、老朽化している子局のスピーカーや柱の更新、旧市町村境で音が重複する箇所などについて子局の撤去を行います。また、デジタル化に伴う調査結果に基づき、新規に子局を設置するものです。

問 どのような調査に基づき、工事を実施するようになったのか、経過を伺う。

答 27年度に行った実施設計において、子局の設備等の現地調査、電波の伝わり方についてのシミュレーション及び電波調査を行いました。

「介護保険制度改正における軽度者への支援継続に関する意見書」を国へ提出

全会一致で
可決

市議会は、次期介護保険制度改革における見直しに当たり、介護保険制度の本来の理念に沿い、介護が必要な方の生活を支える観点を見据えた検討を要望するため、国に「介護保険制度改正における軽度者への支援継続に関する意見書」を提出しました。

（意見書提出先） 内閣総理大臣、厚生労働大臣、衆・参議院議長

（意見書全文）

介護保険制度改正における軽度者への支援継続に関する意見書

平成27年6月30日に閣議決定された「経済財政運営と改革の基本方針2015（骨太の方針2015）」の中で、次期介護保険制度改革に向けて、軽度者（要介護2以下）に対する福祉用具貸与・生活支援サービス等の給付の見直し等を検討することが盛り込まれた。これは超高齢社会の流れを背景に、今後さらに介護保険財政が厳しいものとなる状況を受けてのことであるが、一方、一時的な支出抑制策によって利用控えを招くことで介護度の重度化が進み、結果として財政を圧迫することのないよう慎重な対応が必要と考える。

現行の介護保険制度の考え方には、軽度のうちから必要なサービスを利用することにより、自立を支援し重度化を防ぐという側面がある。

例えば、軽度者向けの福祉用具や住宅改修は、転倒・骨折の予防や自立した生活の継続を補佐し、これによって高齢者自身の自立意欲を高め、重度化を防ぎ遅らせることに役立つ。また、安全な外出機会を保障することで、特に一人暮らしの高齢者の閉じこもりを防ぎ、社会生活を維持することにもつながっている。さらに、介護者の負担軽減にも寄与するものである。

仮にこのような費用が原則自己負担になれば、特に低所得世帯への経済的負担が大きくなることになる。また、負担増によって福祉用具の利用や住宅改修の抑制を招くことになれば、高齢者の自立的な生活を阻害し、結果として介護度の重度化につながり、介護保険給付費の抑制という目的に反して給付費が増大するおそれもある。

以上の理由から、次期介護保険制度改革における軽度者向けの福祉用具貸与、住宅改修、生活援助の見直しにおいては、高齢者の自立を支援し、介護度の重度化を防ぐといった介護保険の理念に沿って、介護が必要な方の生活を支える観点から検討されるよう強く要望する。

委員会審査

議会では、委員会を設置し議案を詳細に審査しています。その内容の一部をお知らせします。

予 算 決 算 委 員 会				■ 委員 長：小野泰弘 ■ 副委員長：高梨俊弘	■ 委員：全議員 (議長を除く)
<p>28年度一般会計補正予算 (第4号)</p> <p>【歳入14款 国庫支出金】</p> <p>問 臨時福祉給付金について、具体的に説明を。</p> <p>答 26年から消費税率の引き上げに伴い実施している。税率が5%から8%になった影響を緩和するため、所得の低い方に対して給付するもので、今回が3回目の支給となり、軽減税率制度が実施されるまでの暫定的な措置である。</p> <p>【歳出3款 民生費】</p> <p>問 高齢者施設等への防犯カメラ設置台数と費用は。</p> <p>答 高齢者施設で規模が大きいところでは1、2台の設置となり、設置台数は障害者福祉施設で10台、高齢者施設等で34台、児童福祉施設で2台となり、計46台となる。費用は基本システム代を含め、カメラ1台分で40万円から50万円程度である。</p> <p>【歳出8款 土木費】</p> <p>問 久保川プロジェクトの整備状況について伺う。</p> <p>答 今回の補正額9千万円によりポンプ場の整備は早くなる。現在残っているのは、谷田川ポンプ場と西御殿川ポンプ場で、西御殿川ポンプ場は30年度末の完成を予定しており、これにより全体が完了する。</p> <p>【歳出10款 教育費】</p> <p>問 小学校施設の緊急修繕の対応状況は。</p> <p>答 今回の緊急修繕は7件で、うち4件が保守点検の指摘を受けたものである。内容は、プール設備にかかる水を浄化する循環る過装置の部品の欠損による不具合の修繕や教室の改修等である。</p>					
<p>交流センター条例の一部改正</p> <p>問 「政治的または宗教的活動」への使用制限が廃止されたが、その内容や運用は。</p> <p>答 広義では、議員の報告会や地区の慰霊祭、祭典なども対象になると考える。現場では判断が困難であり、厳格な対応は難しいことや他の公共機関と足並みをそろえることから、改正に至った。団体の使用に対する現場対応の指針として、今後、内規やマニュアル等を準備していきたい。</p>				<p>■ 委員 長：山田安邦 ■ 副委員長：高田正人</p> <p>■ 委員：虫生時彦、絹村和弘、寺田幹根 鈴木喜文、川崎和子、高梨俊弘</p>	
<p>28年度防災行政無線(同報系)デジタル化整備工事請負契約の締結</p> <p>問 工事スケジュールとデジタル無線の対応は。</p> <p>答 28年度は親局の工事と福田地区、竜洋地区、豊岡地区における子局(スピーカー)工事等を行う。29年度には豊田地区における子局工事、30年度には磐田地区の子局工事を行い、完了となる。工事を終えた子局から、順次デジタル波を受信し放送していくこととなり、工事未実施の子局はデジタル工事が完了するまでは、今までどおりアナログでの放送となる。</p>					
<p>総 務 委 員 会</p> <p>税条例等の一部改正</p> <p>問 特定一般医薬品等の医療費控除の要件、対象期間の設定</p>				<p>交流センター(見付)</p> 	

民生教育委員会

■委員長：加藤文重
■副委員長：草地博昭

■委員：芦川和美、太田佳孝、松野正比呂
根津康広、鈴木昭二、岡寛

市立学校設置条例の一部改正

問 青城幼稚園が認定こども園に移行することで、今までの預かり保育はどうなるのか。

答 預かり保育は継続していくが、幼稚園型の認定こども園になり、保育枠を設けることができないようになるため、通常預かりの枠はなくなり、緊急預かりの対応を引き続き行うことになる。

問 現在、預かり保育を行っている園児が、そのままこども園の保育枠に移行するのか。

答 自動的に保育枠に移行することはなく、保護者の希望も聞いた中で、移行していくかどうか決定していく。

問 こども園に移行後の定員は、幼稚園枠と保育園枠ではどのようになるか。

答 幼稚園全体の定員は変わらない。保育枠は、入園調整中だが、各歳児に5人程度の枠を設けたいと考えている。

問 職員体制についてはどうなるのか。

答 開所する時間が長くなり、

シフトを組んで保育することになるため、職員は現状より増えると考え



青城幼稚園

ている。保育枠や早番・遅番の園児数がどのくらいになるかで配置も随分と変わってくるため、何人とは言えないが、対応できる職員体制はとっていききたい。

市立総合病院の使用料及手数料条例の一部改正

問 セカンドオペニオン制度の周知は。

答 セカンドオペニオンに至るのは、患者が自分の病気の状況を深く、幅広く知りたい場合であり、患者と医師との話の中で、1つの手法として出てくるものであると考えている。また、現在は、ホームページにおいて案内しており、問い合わせがあれば、事務方も案内している。

建設産業委員会

■委員長：寺田辰蔵
■副委員長：芥川栄人

■委員：細谷修司、八木正弘、稲垣あや子
小野泰弘、川村孝好、増田暢之

勤労者総合福祉センター条例の一部改正

問 センターの事業内容に創業支援を加えた理由は。

答 センターに設置する「キングスペース」で創業された方が駅前で開業することにより、駅前の活性化につながればとの思いで事業に加えた。さらに、創業支援に力を入れていきたい。

問 コワーキングスペースの利用制限は。

答 明文化した制限は設けにくいですが、実際には管理するマネージャーを配置するので対応できると思う。



勤労者総合福祉センター（ワークピア磐田）

問 レンタルボックスを設置するが、利用・設置場所の考えは。

答 創業間近の方が自らの作品のPRや販売などに活用するイメージである。施設利用者が自由に見ることができるところに設置したい。また、自分の店を持っていない方が、コワーキングスペースとともに、レンタルボックスを利用するののも一つの方法と考える。

土地の取得について（沿岸部活性化対策事業）

問 農業経営塾での活用状況と売り払い時期は。

答 約4ヘクタールに作物を栽培している。研修生は3人いたが、1人が研修を終了したため、現在は2名である。売り払い時期は41年度の予定で、価格は26年度に買収した価格と今回の価格の合計に利息を含めた金額になると思う。

※コワーキングスペース

独立して働く個人が、机・椅子・ネットワーク設備などの実務環境を共有しながら仕事を行う場所。

市 政 を 問 う

代表質問・一般質問 要 旨 (5会派) (2名)

代表質問とは？

会派（所属議員が2人以上）を代表した議員が、市政全般にわたり、市長をはじめとする執行機関に対し行う質問を代表質問といい、本市議会では11月定例会で行われます。

一般質問とは？

個々の議員が、市政全般にわたり、市長をはじめとする執行機関に対して行う質問を一般質問といいます。

一般質問の様子は、インターネットで録画配信しています。

[磐田市議会](#) [配信](#)

[クリック](#)
[検索](#)

志政会



(後列左から) 増田暢之議員 川村孝好議員 絹村和弘議員
草地博昭議員 寺田幹根議員
(前列左から) 細谷修司議員 高田正人議員 鈴木昭二議員
加藤治吉議員 岡實議員

新磐田



(左から) 芥川栄人議員 寺田辰蔵議員 虫生時彦議員
川崎和子議員 芦川和美議員 松野正比呂議員
加藤文重議員

日本共産党磐田市議団



(左から) 高梨俊弘議員 根津康広議員
稲垣あや子議員

ぎずなの会



(左から) 八木正弘議員 山田安邦議員
太田佳孝議員

公明党磐田



(左から) 鈴木喜文議員 小野泰弘議員

渡部市政の総括／地域の課題・発展／超少子高齢社会 福祉・医療の課題と充実／公共事業・公共施設

新磐田 【質問者】 川崎和子議員



渡部市政の総括

問 渡部市政2期7年7カ月の総括は。

答 1期目は財政運営の建て直しや次の時代の基礎を築くこと目指し、優先順位をつけ事業を展開した。2期目は市民の幸せと希望、子どもたちの将来のために力強く挑戦する磐田を掲げ、海岸堤防の整備、下野部工業団地の開発、福田こども園の開設、小中一貫教育の推進など目標としていた取り組みをおおむね実施、着手できた。



下野部工業団地

地域の発展

問 地域づくり協議会への一括交付金実施の方向と浸透度は。

答 29年度は防犯、交通安全活動などに対して実施し、その後、児童、青少年や福祉分野など段階的に拡大していく予定である。地域も初めて経験する制度のため、小額な交付金から少しずつなれていただき浸透させていきたい。

問 自治基本条例の制定に向けた研究の推進について伺う。

答 協働のまちづくり推進条例とあわせて検証し、条例改廃も含め研究している。住民の意見を聞く場を設けながら、将来的には制定したい。

問 狭隘道路せまなみちにおける歩行帯のカラー化について伺う。

答 現在、小学校等の周辺の交通安全対策として、路側帯の白線の外側にグリーンラインを設置している。引き続き、関係機関と連携して小学校等の周辺を重点に歩行帯のカラー化に取り組んでいく。

超少子高齢社会



グリーンライン

問 保育コンシェルジュの設置について考えを伺う。

答 (仮称) 子ども図書館における相談業務の一環として設置を検討していく。充実した相談体制を敷いていきたい。

問 デマンド型タクシーの利便性の向上について伺う。

答 地域公共交通会議で運行内容の見直し方針を示し、委員の意見集約を図った。広域的な目的地の拡大や運行日に土曜日を追加、また、昼の間帯に1便増便する考えである。会議の合意を経て、29年度からの運行に反映したい。

福祉・医療の充実

問 農業分野における障がい者雇用の受け皿づくり推進について伺う。

答 農地所有適格法人等が農作業の一部を就労支援施設に作業委託するなど、農業分野での働く機会が少しずつ出てきた。企業の農業参入に係る相談でも、将来的には働く機会を提供したいという経営者が出てきている。今後も、個別相談等でのような事例を紹介することにより働く場の創出を支援していきたい。

問 市立総合病院駐車場における街灯の増設について伺う。

答 病院建設時に地域との協議の中で現在の設置数となっているが、防犯上の観点からも必要に応じて検討、見直しをしていく。

公共事業・公共施設

問 「ともりあ」の充実について伺う。

答 男女共同参画事業の見直しも含め、より充実させていくため、現在再構築しようとしている。今よりもよくなると思っただきたい。



市政運営と国政の考え方／市政の諸課題 市民生活、まちづくり

日本共産党磐田市議団 【質問者】 高梨俊弘 議員



市政運営と国政

問 29年度予算編成の基本方針と重点施策について伺う。

答 子育て・教育のまちづくり、安心安全なまちづくり、地域の自立と活力のあるまちづくりの3つを基本目標とした。また、優先施策として、子育て支援・教育の充実、市民生活の安心・安全の確保、コミュニティの活性化とスポーツ・文化の振興、福祉の充実と健康づくりの推進、産業の育成・支援と移住・定住の促進、都市基盤の整備と快適な生活環境の確保を掲げ、新たな学校づくり整備事業やJR新駅設置事業、市民文化



JR新駅イメージ図

会館整備事業等に取り組みたい。

問 浜岡原発の永久停止について、市長自らの意思表示は。

答 原発は国のエネルギー政策の根幹として進めてきたものであり、福島第一原発の事故の検証や、新規制基準の適合性確認審査の結果を踏まえ、国が判断すべきと考える。

諸課題

問 就学前の乳幼児の医療費一部負担廃止の検討は。

答 関係部署によるワーキング会議において、子育て家庭への経済的支援全般の中で検討している。



問 豊田中学校区学府一体整備構想の検討状況等を伺う。

答 ながふじ学府新たな学校づくり検討会では、豊田北部

小と豊田中で一体型の施設をつくり、将来的に豊田東小を含めた施設にするという意見でまとまっている。事業費は、今後、基本構想において、想定する施設規模や機能等を決定し算定していく。

市民生活

問 市独自の給付型奨学金制度と、学生が市内企業へ就職した場合の奨学金返済助成制度を創設する考えは。

答 より多くの若者に戻ってきてもらうことが重要であり、学生などの若者に対する新たな支援策も検討していきたい。

問 木造住宅耐震化事業の推進策について伺う。



特別委員会

2つの常任委員会にまたがる事項や特に重要な事項等を審査するために、議会の議決に基づき設けられます。

常任委員会

本会議での審査を効率的に行うため、少数の議員で構成する委員会を設け、議案などを専門的・能率的に審査します。本市議会では総務委員会、民生教育委員会、建設産業委員会、予算決算委員会、広報広聴委員会の5つの常任委員会があります。

議会運営委員会

円滑な議会の運営を図るため、議会運営全般について協議・調整を図る会議です。

本会議

議員全員で構成され、市議会の意思を決定するほか、市政全般について質問を行う会議です。市議会に提出された議案や市議会としての意見表明などの可否は、最終的にはすべて本会議において決められます。本市議会では、2月・6月・9月・11月に開会する定例会と、必要ときに開かれる臨時会があります。



©磐田市

コンパクトシティへのまちづくり／情報化施策
福祉・健康施策／防災・防犯／教育関連課題

公明党磐田【質問者】小野泰弘 議員



コンパクトシティ

問 コンパクトシティにおける地域公共交通のあり方は。

答 利用者減の民間路線バスの確保・維持とデマンド型乗合タクシーの安定運行に努める中で、コンパクトなまちづくりと連携した交通ネットワークの方向性等、本市の実情に応じたあり方の調査・研究をさらに進めていきたい。



デマンドタクシー

情報化施策

問 スマホ・タブレット等の情報端末の活用と情報提供アプリの今後の取り組みは。

答 現在、庁内では5課でタブレットを活用している。

情報アプリは、イベント情報や広報いわたの発信に活用しているが、今後は他業務に関する検討していきたい。

福祉施策

問 多子世帯への保育料軽減等、子育て家庭へのさらなる経済的支援の考えを伺う。

答 関係部署によるワーキング会議で支援策を検討している。今後、実施可能なものから29年度予算に計上できるように、関係機関等との協議や調整を進めていきたい。



問 国の補正予算を活用した結婚支援の考えは。

答 安定した結婚生活や出産子育てができる環境を整えることが必要である。国の補正予算による支援は一時的な経

済支援であり、現時点では考えていない。

防災

問 避難所としての学校の防災機能を強化するため、国の施策を活用したトイレ環境改善や空調設備等整備の考えは。

答 有利な財源を活用して整備を進める考えはあるが、避難所の見直しを優先したい。

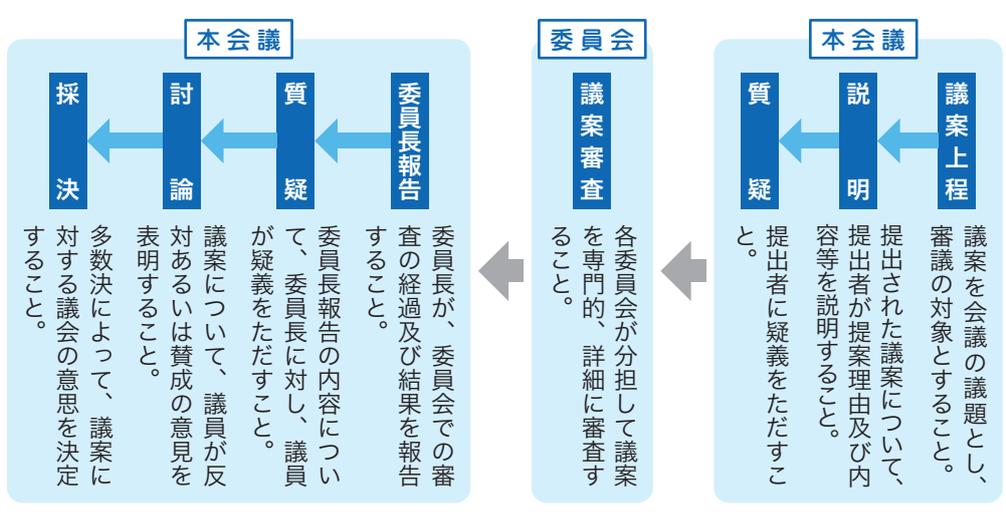
教育関連課題

問 「いじめ＆不登校」調査を継続支援し、その成果のプログラムを活用して、いじめ等のない教育を目指す考えは。

答 調査により不登校やいじめの要因にかかわるデータが得られ、各学校が取り組むべき内容が絞られてきた。今後は、不安予防やいじめ防止等のプログラム実行性等について検討し、さらに研究を進めていきたい。



議案採決の流れ



これからも成長するまちづくり／自治力を高められる仕組みづくり
子どもたちが健やかに成長できるまちづくり／市民が生き生きと暮らせるまちづくり

志政会 【質問者】 草地 博昭 議員



成長するまちづくり

問 これまでの市長職の評価と次期市長選への思いは。

答 目標として掲げた取り組みはおおむね達成でき、その他の事業にも積極的に取り組めた。また、財政再建も2年半でめどがついた。これから迎える人口減少、少子高齢化社会に立ち向かうために、子どもたち、若者たちの将来の基盤づくりをさらに大きく進めたいことなどから、29年4月の市長選で審判を仰ぎ、多数の御支援をいただけるのであれば、引き続き市政のかじ取り役をしっかりと担い、全力で挑戦をしていく決意である。

自治力を高められる仕組み

問 地域づくり協議会への期待、課題は。

答 子育てや防災、福祉等の地域課題に助け合って取り組むことで、住みやすい地域づくりの実現を期待する。一括交付金は、地域の創意工夫で少し自由に使えるお金を生み出すことができるため、地域

の実施事業に充てていただきたい。課題は地域活動をけん引する地域人材の発掘やより多くの人が協議会活動に参加できる仕組みづくり等である。



地域づくり協議会

問 地域活動経験者が継続して地域に関われる組織づくりの考えは。

答 各協議会に設立するボランティア人材バンクを活用し、負担にならないような協力を呼びかけていきたい。

健やかに成長できるまちづくり

問 本市の子育て支援の特色、課題、新たな施策は。

答 妊娠期から子育て期までをこども部で一元的に対応

し、母子保健、子育て支援発達支援、幼稚園、保育園の連携が円滑にできている。子育ての孤立解消等が課題であり、親同士がつながる仕掛けづくりなどに取り組みたい。

問 家庭や地域の育児力を高める取り組みの現状は。

答 地域づくり協議会等が主催する子育て支援講座が増えてきている。課題は地域で子育てを支援する取り組みを、さらに拡大することである。

生き生きと暮らせるまちづくり

問 地域での高齢者サポートの現状と今後の考えは。

答 生活支援の担い手養成を進めるとともに、生活支援コーディネーターが地域ケア会議などに参加している。今後はボランティアやNPOなどが高齢者サポートに携われる協議の場を設けたい。

問 認知症への取り組みと課題、今後の相談支援体制は。

答 認知症サポーター養成講座や認知症フォーラムを開催し、支え合いの地域づくりを

推進している。また、家族介護者教室等で認知症の方や介護者を支援している。課題は地域での見守り支援の重要性を十分周知できていないことである。今後は医師会や関係機関と連携し早期発見、早期対応のための初期集中支援チームの設置に取り組んでいく。



認知症フォーラム

問 地域医療構想を受け、市立総合病院のあり方と連携は。

答 中東遠二次医療圏で高度急性期医療を担うものと考え、地域の医療施設等との交流により、医療の質の向上に貢献するとともに、情報共有等に取り組んでいく。



29年度予算編成／財源確保施策／コンパクトシティ、移住・定住促進 総合力ナンバーワンに向けての現状認識と課題



きずなの会 【質問者】 山田安邦 議員

予算編成

問 29年度予算編成での重点事業と財源内訳は。

答 新たな学校づくりの整備やJR新駅設置、市民文化会館整備等に取り組んでいきたい。財源は、新たな学校づくり整備事業は国庫支出金・基金繰入金・市債を、JR新駅設置事業は国・県支出金・基金繰入金・市債・諸収入を、市民文化会館整備事業は市債を見込んでいます。



市民文化会館

財源確保

問 合併特例債と臨時財政対策債の活用と方向性を伺う。

答 合併特例債は、他の事業債と比較して起債充当率や元

利償還金の交付税算入割合が高く、今後の大型事業等の財源として有効に活用する。臨時財政対策債は財政需要を見込む中で他の一般財源の状況も考慮し、柔軟に対応したい。

コンパクトシティ・移住定住

問 コンパクトシティの具体的な取り組みと課題を伺う。

答 パブリックコメントの実施や都市計画審議会から意見を聞き、28年度末までに立地適正化計画を策定する予定である。都市構造を急激に変えることは大変難しく、長い時間を要することが課題である。

問 移住・定住の定義と具体的な取り組みは。

答 明確な定義はないが、転入超過数をひとつの目標としており、移住定住サイトを活用したPR等を実施している。

総合力ナンバーワン

問 都市データパックに基づく住みよさ総合ランキング、安心度、成長力の順位が下がった主な要因と認識を伺う。

答 住みよさ総合ランキングの順位低下は、安心度と成長力の順位が下がったことが一因であり、ランキングに一喜一憂せず目指す方向を着実に歩んでいきたい。



磐田市移住定住サイト「いいわたし@磐田市」

答 住みよさ総合ランキングの順位低下は、安心度と快適度の順位低下が要因である。安心度は、15歳から49歳の女性人口あたりの出生数が影響したと考えるが、安心度の指標に防災面がない等、順位のみで安心度が低いとは言えない。成長力は製造業を中心とした景気の影響を受け、順位が変動すると認識している。住民が住みやすいと思うことが一番であり、ランキングに一喜一憂せず目指す方向を着実に歩んでいきたい。

代表質問 用語解説



コンパクトシティ (P12)

都市的土地利用の郊外への拡大を抑制すると同時に中心市街地の活性化が図られた、生活に必要な諸機能が近接した効率的で持続可能な都市、またはそれを目指した都市政策です。

地域医療構想 (P13)

2025年度に向け、病床の機能分化・連携を進めるために、医療機能ごとに2025年の医療需要と病床の必要量を推計し定めるものです。

合併特例債 (P14)

合併後の新市が、合併に伴い必要な事業に対して借りることができる地方債です。事業費の95%まで借りことができ、元利償還金の70%が普通交付税の基準財政需要額に含まれます。

臨時財政対策債 (P14)

国が地方交付税として交付すべき財源が不足した場合、地方交付税の交付額を減らして、該当する地方公共団体自らに地方債を発行させる制度です。償還に要する費用は後年度の地方交付税で措置されます。

磐田市立病院の諸課題

問
答



日本共産党磐田市議団 根津康広 議員

問 国の新公立病院改革ガイドラインの策定にどのように取り組んでいるか。

答 公立病院が安定した経営のもとで、不採算医療や高度医療等を提供する重要な役割を継続して担うことや、地域ごとの適切な医療提供体制の再構築に取り組んでいくことが必要であると考えている。新公立病院改革プランは、28年度中の策定を予定している。

問 また、認知症ケアサポートチームを立ち上げ、デイサービスの実施など患者の支援に取り組んでいる。

問 公表基準対象の医療事故の件数と対応は。

答 基準適用の15年2月1日からの対象件数は13件だが、公表は本人や遺族から承諾を得られないため実績はない。

問 高額医療機器等の購入に係る入札について、予定価格と落札率は。競争原理や公平性等は働いているのか。

答 27年度は43件の入札を実施し、落札率は99・29%である。他院への価格照会や全国的基準の価格調査等で予定価格を決定しており、適性価格で入札されていると考える。

問 一般会計から繰り入れている救急医療等の負担金で、通常の収入では賅えない部分を補填していると考ええる。繰入額は救急医療で1億4620万9千円、高度医療で3352万円、リハビリ医療で852万6千円、小児医療で1495万3千円である。

問 地域包括ケアシステムの推進と医療機能の分化・強化、連携を進めるための対応は。

答 地域包括ケアシステムでの急性期病院として、28年度より入院支援部門の看護師を増員し、取り組みを強化し



市立総合病院

学校給食／男女平等を目指して

問
答



日本共産党磐田市議団 稲垣あや子 議員

学校給食

問 給食調理員の退職者不補充は安全・安心の給食や災害時の炊き出しなどを考えれば問題である。見解を伺う。

答 給食調理員を含む技能労務職員の補充は、定員適正化計画の方針に従い、民間にできるものは、できるだけ民間に委ねることとし、安心・安全な給食を今後も維持できるように配慮しながら、民間への委託を順次進めていく。災害時の炊き出し等は、委託の調理場でも災害時に協力するよう契約書に明示し、非常時の体制を整えている。

問 学校給食で地産地消を拡大するために、自校・直営方式を推進・拡大すべきでは。

答 自校・直営方式にかかわらず、食材の調達はその調理場において、市が責任を持って行っている。市内産農産物を取



地元の食材を使った給食

り入れやすいように献立の工夫等をしており、今後も地産地消の拡大に努める。

男女平等

問 男女共同参画センター「ともりあ」見直しの進捗状況を伺う。

答 28年度は、市民活動推進課が直営でさまざまな事業を実施した。ともりあの窓口は市民活動センター「のっぽ」が対応しているが、市民や団体等からの苦情は寄せられていない。28年度中に見直しの方向性の骨子を固めたい。

問 女性相談室での相談、自立支援で、相談員は足りているか。これからどうしていくのか、見解を伺う。

答 相談件数の増加に加えて、内容も複雑化してきており、女性相談員の負担は増加している。しかし、重篤なケースには他の職員も連携して対応しており、現時点での増員は考えていない。



行政視察報告

議会運営委員会や常任委員会では、所管する事務に関する審査や調査のため、他の自治体の先進的な取り組み等について行政視察を行っています。

今回は、総務委員会と建設産業委員会の行政視察の内容をお知らせします。

総務委員会

11月7日～9日

(調査項目) 公共施設管理／シティブロモーション・移住促進策／防災対策

静岡県焼津市

●公共施設管理

公共施設の老朽化に伴い、焼津市も公共施設管理を進めてきたが、市民シンポジウムの開催や市民アンケートの実施など、市民とともに公共施設マネジメントを「まちづくり」として考えている姿勢が感じられた。また、公共施設の広域連携も前向きに取り組んでおり、参考になった。

長野県上田市

●シティブロモーション、移住促進策

上田市ではドラマ「真田丸」の放送決定に伴い、シティブロモーションの推進体制が整備された。現在は多くの観光客が訪れているが、ドラマ終了後の観光客集客策が課題である。移住・定住促進では周辺市町村と連携し都心でPRセミナーを行っており、少し

ずつ成果が上がっている。本市も近隣市との連携による対策が必要と感じた。

●防災対策

長岡市では中越大震災の経験を踏まえ、「日本一災害に強い都市(まち)をつくる」ために、「災害予防と減災対策」「地域防災力の強化」「災害情報伝達体制の整備」など5つの指針を柱として取り組むとともに、市民の意見、アイデアを集約して防災対策強化につなげている。本市も中越大震災をはじめ、東日本大震災

や熊本地震から多くを教訓とし、災害対策を行う必要があると感じた。



建設産業委員会

10月31日～
11月2日

(調査項目) 農業振興／立地適正化事業の計画実施／地場産業の振興

茨城県美浦村

●農業振興

視察したパブリカ植物工場では、生育に最適な温度、湿度、日射量、風向、二酸化炭素濃度、養液灌水等を最新鋭の環境制御システムで管理し、計画的に生産・出荷をしている。今後、一層のICT活用による製品率のアップや6次産業化による付加価値の向上等が図られれば、農業の可能性はますます広がると感じた。

新潟県見附市

●立地適正化事業の計画実施

見附市は「歩いて暮す健康なまちづくり」をメインテーマとし、国の制度、支援を上手に活用しながら総合的・計画的にまちづくりを行っている。また、地域公共交通は、路線バスを基本としながらも市街地コミュニティバス、郊

外デマンドタクシー等きめ細かく展開しており、本市でも参考にすべきと感じた。

●地場産業の振興

妙高市は雇用や特産品を創出するため、全国初となる閉鎖循環式の屋内型エビ生産システムを地元企業へ打診し、バナメイエビの陸上養殖事業を開始した。本市も地域経済活性化のため、成長産業として期待のかかる水産業を含めた幅広い企業誘致等ハード・ソフトの両面から支援を充実させていく必要があるのではないかと思う。



請願・陳情とは

市政などについて、直接、議会に要望できる制度として「請願」「陳情」があります。これらは磐田市民に限らず、どなたでも提出することができます。

【請願】 地方自治法及び市議会会議規則に定められており、磐田市議会議員の紹介が必要です。

【陳情】 磐田市議会議員の紹介は不要です。

【審査等】 所管する委員会に付託されその内容を慎重に審査した後、本会議（陳情は全員協議会）に報告され採択・不採択が決定されます。郵送による陳情は議長預かりとなります。詳しくは議会事務局にお問い合わせください。

【請願・陳情の書き方】

磐田市議会議長 様	年月日
請願（陳情）者 住所 氏名	印
紹介議員（陳情は必要なし） 氏名	印
〇〇〇〇〇に関する請願（陳情）	
要旨 （請願、陳情する事項を簡単に記入）	
理由 （請願、陳情する事項とその理由を詳細に記入）	

議会をインターネットで見ることができます

インターネットを通じて、本会議、予算決算委員会の模様を生中継・録画配信しています。ご自宅のパソコンでも視聴できますので、ご利用ください。



磐田市議会 配信

検索

議会にご意見をお寄せください

市民の皆さまの声をお聞きするため、「ご意見ポスト」を本庁舎1階と5階に設置しています。市議会へのご意見・ご要望をお寄せください。



皆さんの意見を参考に、よりよい「いわた羅針盤」に！ ～議会報告会参加者にアンケートを実施しました～

議会報告会に参加いただいた方に、リニューアルした議会だより「いわた羅針盤」に関するアンケートを行いました。今後も皆さまのご意見等を参考に、よりよい「いわた羅針盤」となるよう努力いたします。

Q1：以前の議会だよりと比べてどうですか？

分類	件数
大変よくなった	8
よくなった	32
あまり変わらない	8
悪くなった	1
未回答	3
計	52

Q2：どのような点がよくなりましたか？

分類	件数
読みやすさ	27
記事の内容・量	8
わかりやすさ	9
その他	5
未回答	8
計	57

※複数回答あり

Q3：関心のある記事はどれですか？

分類	件数
特集	10
本会議の内容	8
委員会の内容	16
一般質問	21
トピックス・インフォメーション	2
未回答	3
計	60

※複数回答あり

Q4：どのような記事があればよんでみたいですか？（回答抜粋）

- ・議員の人となりを紹介する記事
- ・福祉関係について具体策と結果に至る経過など
- ・市内主要団体（町内会、老人会、体育協会など）が議会に要望していること
- ・投票率のアップにつながる記事

議会報告会を開催しました



市議会は、24年6月に制定した議会基本条例に基づき、28年10月29日（土）に、議会報告会を開催しました。今年度は昨年に引き続き、総務、民生教育、建設産業の常任委員会ごとの報告会とし、それぞれの所管のテーマについて報告するとともに、参加者とフリーテーマで意見交換を行いました。ここでは、その一部をお知らせします。なお、皆さまからいただいたご意見は、議会で課題を整理し、検討をしています。

総務委員会

場 所：岩田交流センター
 参 加 者：28人
 報告内容：決算、政務活動費
 市の財政、公共施設管理



【公共施設】

意見等：市民文化会館の件で、移転候補先の利用者など土地所有者以外の関係者への説明・協議が必要では。

回 答：学識経験者などにより構成された「磐田市文化会館建設検討委員会」での協議は非公開で行われたので、建設検討委員に選出された議員以外はその内容を知ることにはできない。そのため、移転候補先の利用者の状況等についても聞いていない。なお、議会では土地の購入等の契約に関する議案が提出されてから審議することとなる。ご意見は今後の課題として受け止めたい。

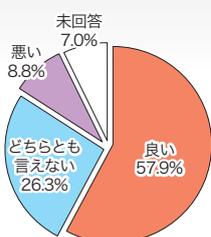
【決算】

意見等：採決する立場として、27年度の決算を踏まえ、議会としての考えを述べるべきでは。

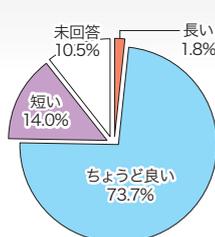
回 答：総合計画見直しの審議の中で、常任委員会ごとに議論し、市に提言をした。11月定例会には議案として出てくるので、しっかりと審議したい。

議会報告会アンケート結果

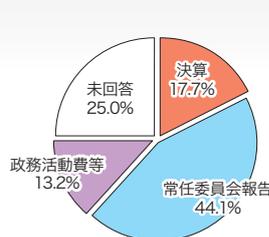
【開催日時】



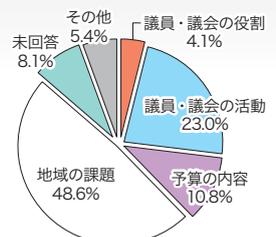
【時 間】



【報告テーマでよかったもの】



【今後テーマにしてほしいもの】



民生教育 委員会

場 所：ワークピア磐田
参 加 者：26人
報告内容：決算、政務活動費
子育て支援、教育



【子育て相談体制】

意見等：子育ての相談体制の強化とは具体的にはどのようなことか。

回 答：子育て支援センターには、保育士や幼稚園教諭の経験者等がいるので遠慮なく相談して欲しい。また、子育てアプリなどを利用して子育て支援課にメールを送れば必ず返信してくれる。

市では、出産後3カ月前後に必ず保健師が家庭訪問を行い、家庭状況について個々にヒアリングしてデータを蓄積している。1歳半健診時にも必ず家庭を訪問し、全員が通過するところでの確かな情報を渡すようにしている。

【発達支援】

意見等：生まれてきた子が健全に育っているかどうか、早い段階で発達の状況をつかみ、保護者のフォローもすべきである。

回 答：現在、市では寄り添い型のサポートを行っている最中である。試行錯誤しながら取り組んでいるため、市民の皆さまの御意見が政策に反映しやすい部分であるので、御意見があれば聞かせいただきたい。

建設産業 委員会

場 所：福田中央交流センター
参 加 者：13人
報告内容：決算、政務活動費
中小企業及び小規模企業振興



【雇用】

意見等：磐田は雇用の創出が遅れているのではないかなと思うがどうか。

回 答：磐田市の産業構造は少し偏っているところがあるため、今後は新しい次世代型の産業としてスマートアグリカルチャーなど農業関係等の1次産業について雇用の創出を図っていきたいと考えている。さまざまな産業を含め、どんな危機が来ても平準的に働ける産業構造が必要だと考える。

【インフラ】

意見等：国道150号線が清庵新田でとまったままであるが、その後の状況は。

回 答：停滞している要因は磐田市以東の路線がまだ決まっていないこと、景気低迷の影響で予算が少なくなっていることなどである。完成は大分先の話になると思う。

参加者の感想（アンケートから一部抜粋）

- ・市議会議員は遠い存在であったが、報告会に参加して一人一人の仕事ぶりがわかった。
- ・意見交換の時間があってよかった。
- ・各地区での開催であるため、その地区の課題もピックアップしてほしい。
- ・テーマごとに意見交流会をしてほしい。
- ・1日のみの開催ではなく、複数日の開催を。
- ・若い世代の参加者が少ない。広報に工夫が必要。
- ・政務活動費について、もう少し詳細な説明がほしかった。

審議結果

■全会一致により可決・承認・同意された議案

- (1) 専決処分（医療事故の和解）
- (2) 28年度一般会計補正予算（第4号）
- (3) // 後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第1号）
- (4) // 農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）
- (5) // 公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）
- (6) // 水道事業会計補正予算（第2号）
- (7) 市議会議員及び磐田市長の選挙における選挙運動の公営に関する条例の一部改正
- (8) 部設置条例の一部改正
- (9) 市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例一部改正
- (10) 特別職の職員で常勤のものの給料等に関する条例等の一部改正
- (11) 職員の給与に関する条例等の一部改正
- (12) 職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正
- (13) 職員退職手当支給条例の一部改正
- (14) 交流センター条例の一部改正
- (15) 手数料条例の一部改正
- (16) 税条例等の一部改正
- (17) 国民健康保険税条例の一部改正
- (18) 子どものための教育・保育給付に係る利用者負担額を定める条例の一部改正
- (19) 勤労者総合福祉センター条例の一部改正
- (20) 豊岡サブセンター条例の一部改正

- (21) 於保農村婦人の家条例の一部改正
- (22) 福田農村環境改善センター条例の一部改正
- (23) 豊岡地場産品ふれあい施設条例の一部改正
- (24) 市立学校設置条例の一部改正
- (25) 市立総合病院の使用料及び手数料条例の一部改正
- (26) 財産の取得
- (27) 土地の取得
- (28) 指定管理者の指定
- (29) 28年度磐田市防災行政無線（同報系）デジタル化整備工事請負契約の締結
- (30) 人権擁護委員の候補者推薦の同意
- (31) 介護保険制度改正における軽度者への支援継続に関する意見書

■賛成多数により可決された議案

- (1) 第2次磐田市総合計画基本構想及び基本計画
賛成20（志・新・き・公）／反対3（共）／欠1（き）

■その他

- (1) 市議会議員の派遣

会派名の表記（人数） ※28年12月19日現在
 「志」志政会（10）、「新」新磐田（7）、
 「共」日本共産党磐田市議団（3）、
 「き」きずなの会（3）、「公」公明党磐田（2）
 （注）議長は採決に加われません。

2月定例会の予定

（2月17日～3月21日）

日	月	火	水	木	金	土
2/12	13	14	15	16	17	18
					本会議 (議案上程)	
19	20	21	22	23	24	25
	本会議 (議案上程)					
26	27	28	3/1	2	3	4
		本会議 (一般質問)		本会議 (議案質疑)		
5	6	7	8	9	10	11
		予算決算委員会分科会(審査) 常任委員会(審査)				
12	13	14	15	16	17	18
		予算決算委員会 (採決)				
19	20	21	20	21	22	23
		本会議 (採決)				

※いずれも午前10時から

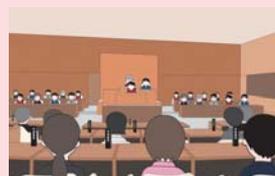
日程は変更する場合があります。また、聴覚障害者の皆さまの議会傍聴のため、手話通訳者や要約記者の派遣等を行っています。ご希望の方は、事前に議会事務局（電話0538-37-4822、ファックス0538-37-4845）までお問い合わせください。

議会を傍聴しませんか

2月定例会では、29年度当初予算案が審議されます。

本会議・委員会は当日の受付で傍聴できます。

5階の議会事務局までお越しください。議会を身近に知るためにも傍聴されてみてはいかがでしょうか。



編集後記

11月定例会では、磐田市の今後10年間の指針となる「第2次磐田市総合計画」について審議しました。総合計画については、事前に議会から市長へ提言書を提出するなど、策定の段階から積極的に関わり、その提言の多くが反映した計画となりました。

これからの磐田市がより発展するよう、着実な計画の実行を期待します。

【広報広聴委員会】

- 委員 長：松野正比呂
- 副委員長：細谷修司
- 委員：草地博昭、芦川和美、高梨俊弘、小野泰弘、山田安邦